

令和3年度

三笠市教育研究所主催 夏季講座

令和3年8月2日【月】三笠市民会館に於いて本年度の夏季講座を実施いたしました。三笠市内外より約60名の皆様にご参加いただき、3講座(午後は三笠市内のみ)、それぞれの講師のご指導により充実した内容で開催できました。



開会式で高森教育長・松井所長の挨拶

講座1 地域教育講座

三笠ジオパーク推進協議会事務局長 下村圭様

「SDGsの視点を含めた地域学習の取り組み」

地域資源の活用を教育課程に位置づけ、意図的・継続的な指導を展開することの重要性について学ぶ機会となりました。「全て繋がりがあ

りがあり、視点を豊かに教育に活かす」という考え方に指導者のあるべき姿を考えることができました。

現在、三笠ジオパークの教育旅行も多いことから「学校教育」との関連が緊密になっていることも理解できました。

参加者からは、地域の活性と生徒の将来に対する考え方を深める機会となったことや、本市の進めている「地域科」の授業の組み立ての参考となり、大変有意義でしたとの感想を多くいただきました。

講座2 地域教育講座

北海道地図株式会社取締役社長

小林毅一様

「地図データから学ぶまちの魅力発見」



日本で初めてカーナビゲーションの開発にあたり、社会科教科書や防災関連の資料を提供されている業務内容から、身近な分野で地図データを活用していることを知りました。

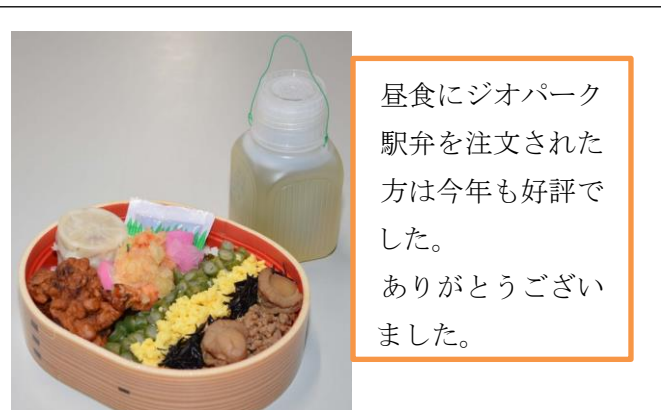
三笠中学校地域科でも、会社訪問し最新技術について体験する学習を展開していることから、改めて地図作成の段階的歩みについて考える講座となりました。

学校・地域・企業が今後連携しながら教育を充実させていくという考え方は、社会に開かれた教育課程の実現に向けた一歩になることも考える機会となりました。





午後の開会に向けて阿部教育次長より挨拶



昼食にジオパーク
駅弁を注文された
方は今年も好評で
した。
ありがとうございました。

講座3 特別講座 市町教育委員会連携講座 北海道立教育研究所

研修部主査 駒津和康様

研究研修主事 三谷玖未様

ICT活用講座

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善



授業改善に向けた考え方についての説明では新学習指導要領で目指す何ができるようになったかという考え方を確認しそのために、どのように学ぶかについての具体例が示されました。事前に準備した「iPad」の授業での活用方法について、国語「ごんぎつね」を通して実際に体験しながら学ぶ時間となりました。

操作しながらの研修は、時間の設定に工夫が必要であったと考えます。今後は各ソフトの使い方を充実させてほしいとの要望もありました。



閉会式での高岸運営委員長の挨拶

今年も、暑い夏の一日程での夏季講座でしたが、参加の皆様から参考になったとの感想を多くいただきました。閉会式での高岸運営委員長〔岡山小学校長〕の挨拶にもありましたが、日常実践に役立つ多角的な研修内容を設定することができました。講師の皆様、ご協力くださいましたご参加の皆様にご感謝申し上げます。ご意見を参考に今後も指導力向上の一助となるよう期待に応えられる研修内容を設定していきたいと考えます。【三笠市教育研究所】